

農地法第3条の規定による許可申請書

下記農地（採草放牧地）の(に).....を.....したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

平成 年 月 日

長岡京市農業委員会会長様

申請者

譲渡人(貸人)

印

譲受人(借人)

印

記

1 申請当事者の氏名（名称）等

当事者	氏名（名称）	年齢	職業	住所
譲渡人（貸人）				
譲受人（借人）				

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 m ²	作付作物 及び10アールあたり 普通収穫高 Kg	利用 状況	所有者 氏名 (名称)	所有 期間	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由.....

(貸人)

譲受人の事由.....

(借人)

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

(1) 移転(設定)の時期 平成 年 月 日

(2) 賃貸借期間 平成 年 月 日～ 年間

(3) 移転(設定)の対価 総額 円 (3. 3m²あたり 円)

(賃料(年額) 円)

5 権利を設定、移転しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 () 内には、 作付作物を記載 すること。	譲 受 人 (借人)					
	所 有 地			借 入 地		経営地合計 (①+④) m ²
	自作地 ① m ²	貸付地 ② m ²	その他 ③ m ²	現に耕作 中の土地 ④ m ²	その他 ⑤ m ²	
田()						
畑()						
樹園地()						
計						
採草放牧地						

※③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第6号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等（構成員）がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況（法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況）

	氏 名	年 齢	権利取得者との続柄	年間農作業従事日数	農作業経験（研修）年数
(世帯員等) 構成員					
常時雇用者					
常時雇用者		年間延べ従事日数 日			

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種 類	農業用自動車	トラクター	田植機	コンバイン	耕運機					
既確保										
導入予定										

8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。

記入例

農地法第3条の規定による許可申請書



下記農地（採草放牧地）の(に).....を.....したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

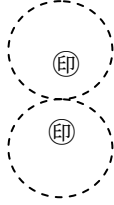
移転、設定

長岡京市農業委員会会長 様 申請者

所有権、永小作権、使用貸借権、賃借権、地上権、質権、その他の使用収益権

譲渡人(貸人) 長岡 一郎

譲受人(借人) 開田 三郎



記

1 申請当事者の氏名（名称）等

当事者	氏名（名称）	年齢	職業	住所
譲渡人（貸人）	長岡 一郎	51	農業	長岡京市開田〇丁目〇-〇
譲受人（借人）	開田 三郎	56	農業	長岡京市長岡〇丁目〇-〇

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 m ²	作付作物 及び10アール 当たり普通収 穫高 Kg	利用 状況	所有者 氏名 (名称)	所有 期間	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	
開田△丁目 △-△	田	田	1234	米 430	水稻	長岡 一郎	20年	左に同じ	所有権	

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 農業経営規模の縮小(具体的に記入ください)

(貸人)

譲受人の事由 農業経営規模の拡大(具体的に記入ください)

(借人)

総額欄は売買金額、賃料欄は貸し借りの金額を記入。使用貸借権(無料の貸し借り)の場合は空欄。

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

(1) 移転(設定)の時期 平成 〇〇年 〇月 〇日

(2) 賃貸借期間 平成 〇〇年 〇月 〇日 ~ 3年間

(3) 移転(設定)の対価 総額 円 (3. 3m²当たり 円)

(賃料(年額) 円)

- 5 権利を設定、移転しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 () 内には、 作付作物を記載 すること。	譲 受 人 (借人)					経営地合計 (①+④) m ²
	所 有 地			借 入 地		
	自作地 ① m ²	貸付地 ② m ²	その他 ③ m ²	現に耕作 中の土地 ④ m ²	その他 ⑤ m ²	
田 (水稲、茄子など)	5,000					5,000
畑 (筍)	3,000					3,000
樹園地 ()						
計	8,000					8,000
採草放牧地						

※③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第6号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

- 6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等 (構成員) がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況 (法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況)

	氏 名	年 齢	権利取得者との続柄	年間農作業従事日数	農作業経験 (研修) 年 数
(世帯員等) 構成員)	開田 三郎	56	本人	200	36年
	開田 花子	55	妻	200	33年
	開田 一郎	32	長男	150	10年
雇 用 時 者					
常時雇用者		年間延べ従事日数 日			

- 7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種 類	農業用自動車	トラクター	田植機	コンバイン	耕運機					
既確保	1	1	1	1						
導入予定										

- 8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。

地域の農地の利用調整に協力し、周辺地域における農業に支障を及ぼすことはありません。